

震災体験学習申し込み用紙

※直接ご記入しにくい場合はコピーしてお使い下さい。 申込日：平成 年 月 日

申込者情報 ※該当する箇所をご記入ください。

フリガナ		フリガナ	
学校名		旅行会社名	
フリガナ		フリガナ	
担当教諭名		担当者名	
所在地	〒 -	所在地	〒 -
電話番号		電話番号	
FAX		FAX	
E-mail		E-mail	

希望内容

希望日	平成 年 月 日 曜日
希望形式	<input type="checkbox"/> ふたば学舎へ訪問 <input type="checkbox"/> 出前講座
希望時間	※9:00～16:00の間でご記入ください。 : ~ :
昼食	<input type="checkbox"/> 炊き出し <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 () ※時間帯により炊き出しができない場合があります。
学年・人数	年生 クラス 人/先生 人
来訪手段	<input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> バス 台 ※ふたば学舎へ訪問する場合のみご記入ください。
学習目的	震災学習を通して、生徒に学んで欲しいことは何ですか？ ※箇条書きやキーワードでも構いません。
事前学習	阪神・淡路大震災について事前学習を行いますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ※「はい」の場合はその内容を教えてください。
その他	上記以外にご希望などがあればご記入ください。

プログラム案内

震災の記憶を未来の防災につなげる

震災体験学習



震災に負けない生きる力を身につける

ふたば学舎

指定管理者 NPO 法人ふたば

〒653-0042 神戸市長田区二葉町7丁目1番18号

TEL : 078-646-8128 FAX : 078-646-8138 E-Mail : taiken@futabasyo.jp

●「自分事」としての震災体験学習

1995年1月17日に阪神・淡路大震災が起き、神戸市長田区南西部に位置する二葉小学校は多くの被災者を受け入れる避難所となりました。

その二葉小学校を前身とする「ふたば学舎」では、周辺被災地の記憶を中心に、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を次世代に伝えるための震災体験学習を実施しています。

参加者が震災被災者の想いや経験を「自分事」として捉え、未来の震災への備えにつなげられるよう、避難所体験や語り部体験談など複数のメニューを組み合わせた**体感型プログラム**を提供いたします。

プログラムの対象

- ★神戸市内の小学生・中学生・高校生（講習費無料）
- ★神戸市外からの校外学習や修学旅行生（講習費有料）
- ★職員研修や大学生、一般の観光旅行者（講習費有料）

*いずれも出前講座も承ります。

多様なメニュー

●これまで実施したメニューには以下のようなものがあります。（メニューは今後も追加予定）

1. 阪神・淡路大震災スライド学習（所要時間：およそ20分）
2. 避難所体験（30分～60分）
3. 元小学校復興担当教員による講演（15分～60分）
4. 震災語り部体験談（15分～60分）
[被災体験談、避難所運営の体験談、消防活動の体験談、復興まちづくりの体験談]
5. 被災地のまち歩き（20分～90分）
6. 炊き出し体験（30分～60分）
7. 紙食器づくり（およそ15分）
8. 新聞紙スリッパづくり（およそ15分）
9. 缶コンロづくり（およそ30分）
10. 震災を歌で伝えるミニコンサート（20分～40分）
11. 防災・減災ゲーム（20分～60分）
[クロスロード、ぼうさいダック、防災クイズラリー、DIG（Disaster Imagination Game）]
12. 災害現場の知恵学習（およそ40分）
[ロープの結び方、簡易担架の作り方、応急手当の仕方など]

メニューを
組み合わせて
実施します

基本料金
(9時～16時の間)

1日コース
(2時間以上)
3,000円

短縮コース
(2時間未満)
2,000円

*料金はすべて税込みです。
*料金はすべて1人あたりのものです。
*炊き出し体験は材料費が別途必要です。
(1人500円程度)
*その他ご要望応相談。

●震災体験学習メニュー例のご紹介



◀避難所体験

阪神・淡路大震災の時、避難所になった旧二葉小学校（現・ふたば学舎）の講堂で、ダンボールを使った避難スペースづくりを行います。避難所生活の環境を実際に体感し、被災に関する想像力を養ってもらいます。

震災語り部体験談▶

阪神・淡路大震災で実際に被災された方からの体験談を聞くことで、個人の目線から見えてくる災害の「怖さ」、同時にそれを克服する力となった人と人との「繋がり」や「思いやり」を学びます。



◀紙食器づくり

災害時に食器が破損したり、水が使用できない状況下でも実用が可能な紙食器づくりを学びます。炊き出し体験の際には、その紙食器を使用します。



◀震災を歌で伝えるミニコンサート

中学2年生のとき阪神・淡路大震災を体験した後、プロミュージシャンとして活動する石田裕之氏が、現在携わっている東日本

申し込み
方法

●お申し込みから実施までの流れは基本的には以下ようになります。

- ①空き状況の確認（お電話で空き状況をご確認ください。）
- ②申し込み用紙の送付（裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXもしくはEメールでお送りください。）
- ③プログラム案の作成（申し込み内容にもとづいて作成した学習プログラム案を提示いたします。）
- ④プログラムの調整と確定（実施までにお電話で打合せを行い、内容を確定いたします。下見にも対応いたします。）
- ⑤震災体験学習の実施（相互の緊急連絡先など連絡体制を確認した上で、当日震災体験学習を実施いたします。）

●問合せ・申し込み先

ふたば学舎

指定管理者 NPO 法人ふたば（震災学習担当者まで）
TEL：078-646-8128 FAX：078-646-8138
E-Mail：taiken@futabasyo.jp

■最寄りの交通機関

- JR 神戸線・市営地下鉄西神山手線・市営地下鉄海岸線 新長田駅から徒歩13分
- 市営地下鉄海岸線 駒ヶ林駅から徒歩6分